

# 塗装は“楽しい”を普及させたい

## 日塗商神奈川支部

3月12日、快晴の下神奈川県小田原市の保育園、小田原愛児園に保護者26名が集まった。日本塗料商業組合が全国で行っている塗り替え支援キャンペーンでの光景だ。同組合神奈川支部のヤブタ塗料が塗装指導を行い、保護者と教員が保育園の屋上とベランダにあるウッドデッキを塗装した。

同キャンペーンは日塗商が塗料の普及活動の一貫として幼稚園などの内装の塗り替えを支援するもので、保護者や教職員が塗装し、組合員は材料、資材の提供と塗装の指導を行う。今回はヤブタ塗料の薮田直秀社長の子どもが通う保育園が舞台となった。「親として、業界に携わる者として、何か恩返しがあったかった」(薮田社長)とキャンペーン活動への思いを話す。

ウッドデッキは夏になると子供たちが水遊びをするため苔が生えやすく、毎年塗り替えを行っていた。園から保護者へキャンペーンへの参加を募ったところ、参加したいとの声が殺到したという。「卒園の記念として今年卒園する園児の保護者の方に多く参加していただけた」と同保育園の園長は嬉しそ



うに話した。

作業が始まると参加した保護者たちには笑顔があふれる。「普段お世話になっている園のために貢献できてとてもよかった。私たち保護者の思い出にもなる」「嫌な臭いもなくて、皆でやれば塗装作業も楽しい。塗装のイメージが変わった」と笑顔で話す。子供たちの学び、遊びの場をきれいにした保護者達も満足げだった。

神奈川支部ではこれまで中学校の音楽室や小学校の遊具の塗装を支援してきており、今回が3回目のキャンペーン活動となった。活動を視察に訪れた清元秀副支部長は「大事なものは、塗装は“楽しい”と思ってもらうこと。参加者が楽しい時間を共有し、子供の学び場を塗装できれいにする満足感を実感してもらいたい」と話した。